

ことひら

第37号

令和2年2月
発行:香川県琴平町議会

議会だより



「雪の日の鞘橋」



12月議会と臨時議会(第1回)

12月定例会	2
一般質問	4
臨時会	8
行政視察報告	9

平成30年度一般会計歳入歳出決算などの認定 2019年度一般会計補正予算など17議案・発議1件を可決

令和元年12月定例会は、12月11日から20日までの10日間の会期で開催しました。

9月定例会で継続審査としていました平成30年度一般会計歳入歳出決算等8議案を認定することに決定しました。また、県人事委員会の勧告に準じた給与改定に伴う人件費、来年度より会計年度任用制度に伴うシステム改修費、危険空家除却支援事業費などの一般会計補正予算など17議案と議員提出議案として、新たな過疎対策法の制定に関する意見書を可決しました。

一般質問では8人の議員が本町の行政全般にわたり、中学校の英語検定、公共施設整備や災害時の取り組み等について町長や教育長にいろいろな角度・視点から質問しました。



■ 平成30年度会計別決算状況 (千円未満切捨てで表示しています。)

会計名	歳入決算額 A	歳出決算額 B	形式収支 A - B = C	翌年度へ繰り越すべき財源 D	実質収支 C - D	
一般会計	49億6,599万7千円	47億281万8千円	2億6,317万9千円	4,682万5千円	2億1,635万4千円	
特別会計	学校給食	3,198万6千円	3,178万7千円	19万8千円	-	19万8千円
	国民健康保険	11億2,407万6千円	11億1,042万4千円	1,365万1千円	-	1,365万1千円
	下水道	2億5,092万2千円	2億4,775万6千円	316万6千円	73万2千円	243万4千円
	駐車場	1,423万円	1,341万5千円	81万5千円	-	81万5千円
	介護保険	12億1,400万1千円	11億6,295万9千円	5,104万1千円	-	5,104万1千円
	後期高齢者医療	1億6,724万8千円	1億6,501万8千円	223万円	-	223万円
	温泉事業	2,221万6千円	2,035万8千円	185万8千円	-	185万8千円
	計	28億2,467万9千円	27億5,171万7千円	7,296万2千円	73万2千円	7,223万円
合計	77億9,067万6千円	74億5,453万5千円	3億3,614万1千円	4,755万7千円	2億8,858万4千円	

■ 2019年度12月補正予算

会計名	補正額	補正後総額
一般会計	522万2千円	65億4,144万9千円
国民健康保険特別会計	△393万7千円	11億3,649万1千円
下水道特別会計	122万1千円	2億5,415万5千円
介護保険特別会計	△600万円	12億5,544万4千円



議案の審議結果

令和元年12月定例会

議案名等	議員名			議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	議決 月日
	賛成	反対	採決結果	安川稔	別所保志	吉田親司	豊嶋浩三	森藤泰生	渡辺信枝	今田勝幸	山下康二	眞鍋籌男	山神猛		
令和元年9月定例会 議案第1号	平成30年度琴平町一般会計歳入歳出決算の認定について	8	1	認	—	○	○	○	○	○	×	○	○	○	12/11
令和元年9月定例会 議案第2号	平成30年度琴平町学校給食特別会計歳入歳出決算の認定について	9	0	認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
令和元年9月定例会 議案第3号	平成30年度琴平町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9	0	認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
令和元年9月定例会 議案第4号	平成30年度琴平町下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	9	0	認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
令和元年9月定例会 議案第5号	平成30年度琴平町駐車場特別会計歳入歳出決算の認定について	9	0	認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
令和元年9月定例会 議案第6号	平成30年度琴平町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9	0	認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
令和元年9月定例会 議案第7号	平成30年度琴平町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	9	0	認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
令和元年9月定例会 議案第8号	平成30年度琴平町温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9	0	認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第1号	2019年度琴平町一般会計補正予算(第3号)	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/20
議案第2号	2019年度琴平町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第3号	2019年度琴平町下水道特別会計補正予算(第2号)	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第4号	2019年度琴平町介護保険特別会計補正予算(第3号)	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第5号	琴平町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	7	2	可	—	○	○	○	○	○	×	○	×	○	〃
議案第6号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	8	1	可	—	○	○	○	○	○	×	○	○	○	〃
議案第7号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第8号	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	8	1	可	—	○	○	○	○	○	×	○	○	○	〃
議案第9号	議会議員に対する期末手当支給条例の一部を改正する条例	8	1	可	—	○	○	○	○	○	×	○	○	○	〃
議案第10号	琴平町印鑑条例の一部を改正する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/11
議案第11号	琴平町有墓地、霊園及び琴平町斎場管理条例の一部を改正する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/20
議案第12号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/11
議案第13号	琴平町道路占用料条例の一部を改正する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第14号	琴平町手数料条例の一部を改正する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第15号	琴平町公共下水道条例の一部を改正する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/20
議案第16号	区域外における公の施設の設置に関する協議について	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/11
議案第17号	財産の取得について	8	1	可	—	○	○	○	○	○	×	○	○	○	12/20
発議第1号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/11

※ 可…可決 認…認定
 ※ ○…賛成 ×…反対 —…議長（議長は可否同数の場合のみ表決権があります。）



答

町長 子どもたちが英語力をつけ、国際人としてのコミュニケーションができるようになることは大切なことで、来年度以降、小学校高学年も英語が必須科目となり評価されるので、中学生だけでなく小学生まで助成の幅を広げていくことを、検討していきたい。

問

渡辺 町長の公約で「特色ある教育実践で中学卒業生の半数は、英検3級合格者という数値目標を・・・」と言われた。来年度から、小学校中学年から英語が導入され高学年では正式な教科となる。小5で英検5級が合格し小6で英検4級に挑戦する子供が数名いる。学力を底上げし英語に重点を置いた教育の町とお考えなら、中学生だけでなく小学生でも検定料を無料にしてはどうか。

答

教育長 古いエアコンの撤去、修理、新たな部品、工事費等を考えると、得策でないと思うが、中学校のエアコンをどうしていくか、移設費など費用面を十分勘案した上で再度考えていきたい。

問

渡辺 アクトのエアコン6台は26年前のもの。中学校のエアコンを移設すれば移設費用だけで済む。7月の旧校舎解体前に、是非もう一度、再利用の協議をしてもらいたい。



渡辺 信枝 議員

- ◎ 琴中学校舎のエアコンを
アクトことひらに再利用を
無料にして
- ◎ 小学生も英語検定料を



山下 康二 議員

- ◎級ごとの英語検定料助成は
- ◎農家廃業対策は

問

山下 三年間で一回の助成であるため、この事業の申請が少ないと感じているが、せめて一つの級について一回助成してあげることが出来ないものか。そうすれば、意欲も湧き、子どもたちの英語力の向上が図れるのではないか。

答

町長 子どもたちが英語力を身につけることは、これからの国際社会を生き抜き、その中で活躍するためには、大切であると思っている。学校と協議して英語教育の中で充実する指針を考え、拡充していくべきと思う。

問

山下 現在、稲作面積が毎年減少している。このまま何も対策をしなければ、稲作面積の減少はより加速し、本町の農業の衰退につながると考えている。水利費等は何も栽培、耕作しなくても必要となる経費が一反当たり五千円かかっている。この金額相当の補助ができないのか。田んぼは自然のダムで有り、農地を守ることは大切だと思うが。

答

町長 農家が農地を維持管理できるように、町としてもできる限りの支援をしなければならぬという認識はあるが、維持管理・経費・後継者の問題等あり、それを含めて農業施策、農地の維持確保は必要である認識を持ちながら、ご指摘については真摯に受け止めた上で今後の課題としたい。



山神 猛 議員

- ◎遅れている当町の公共施設建設の今後の取り組みは
- ◎小中学生のスマートフォンの取り扱いは

問

山神 小学校の建設は、父兄からは一日も早い建設を要望されているにも拘らず、建設に随分後れを取っていると思う。小学校の建設又、就学前施設建設、庁舎の改築、金丸座の耐震化の取り組みについて、町長の考えは。

答

町長 公共施設の優先度の高い役場庁舎、小学校校舎を第一にその後、就学前教育施設と考えている。金丸座の耐震補強工事を行い、続いて小学校を統合し、その近隣にこども園の整備、そして小学校の跡地に役場庁舎と考えている。

問

山神 今後小学校、庁舎等を早急に取り組みたいとの事だが、それを短期間で実施するとなると、資金繰りが悪化し、住民への行政サービスが悪くなると考えるが、小学校校舎は、既に耐震工事も終わっており、空調設備も完備した現校舎をリニューアルして活用されてはいかかがか。新校舎の考えを当町の身の丈に合った事業に変更すべきと考える。

答

町長 3つある中の小学校を活用した形で新設かどうかは別にして選択肢の一つとして検討している。

問

山神 社会問題になっている、小中学生のスマートフォンを取り扱いをどの様に指導しているのか。

答

教育長 情報モラル教育を行い、情報機器の正しい利用について指導を行っている。



吉田 親司 議員

◎次年度以降のハード事業の計画は

◎交通体系の改善策は

問

吉田 平成31年3月に琴平町個別施設計画を立て、その冊子の最終項には、プラン、ドウ、チエック、アクションと名を打っている。長年の懸案である小学校の統合問題、それに伴う役場庁舎の移転、新設と大きな事業のアクションプランを聴きたい。

答

町長 本年度中にその時期については、お示しできればと思っている。小学校の統合、また近隣に幼稚園、保育所を統合した、いわゆるこども園を整備した上で小学校の跡地を利用した役場庁舎、また図書館の建設を考えている。

問

吉田 間もなく来る正月。当町にとっては年中で一番の繁忙期であると思う。そこで起きる交通渋滞、駐車場問題も含めて町内の交通体系の改善策と現在の見識を問う。

答

町長 長年の懸案事項であり、私だけでなく町、内外の様々な方から強く改善を求められており、その必要性は十分強く感じているのが私の所見である。しかし、現状の中での即効薬はなく、なかなか難しいというのも実感である。私もこの正月に再度確認させて頂き、今後とも地元住民や警察、関係団体等の意見も聞きながら検討して行きたい。



森藤 泰生 議員

◎琴平町総合計画

◎スマートウェルネスシティ

◎児童生徒のスマホ使用

問

森藤 総合計画の目的達成度が低いが残りの3か月で策は講じるのか。

答

町長 私の就任が計画期間途中であったこと期間が残り少ないことから、これといったものはない。

問

森藤 諮問機関である審議会があるのだから、期間の途中でも達成度評価をして目標を形骸化させないよう求める。

答

町長 有識者会議など協議体制が不十分であった点は反省するべき。

問

森藤 次期総合計画の策定における町長の公約との整合性を求む。

答

町長 将来の琴平町がどうあるべきか姿が見える計画を作るべき。

問

森藤 町民が健康で生きがいを持ち安全安心に豊かな生活を送る「スマートウェルネスシティ」をまちづくりの中核に据え、科学技術や科学的根拠に基づいた持続可能な新しい都市モデルの構築を。

答

町長 観光地としての施策と住む町としての施策は分けて、情報発信するべき。スマートウェルネスシティには関心を持った。今後大いに参考にしていきたい。

問

森藤 スマホから遠ざけるのみでは指導にならない。スマホに束縛されないような力をつける指導を求む。
教育長 学業や健康に悪影響が出ないよう、また犯罪に巻き込まれないよう指導する。家庭でもルール作りを。

答



豊嶋 浩三 議員

◎町民の命を守る
防災訓練は万全か

◎想定震度6弱に於ける
全町民対象の防災訓練は

豊嶋 町内全域の家屋や交通インフラなどの被害及び住民や観光客の人的被害の想定は出来ているのか。
町長 今回は各自治会の避難訓練と役場職員の初動訓練だけで、以後訓練を積み重ねて総合的訓練とする。

豊嶋 自主防災会とはどのような組織か。

町長 町職員が防災講座や訓練、炊き出し等の啓発活動をしている。

豊嶋 自治会単位での一時避難場所は、すべての安全性を町が確認できているのか。

町長 自治会として安全な避難場所を選定して頂く。

豊嶋 全町一斉となつているのに、3千人以上の自治会非加入住民に対する対応はどうするのか。

町長 チラシの配布と12月広報による周知、訓練前日に広報車による周知を行い、災害時には広報車、町ホームページ、防災無線、報道関係等により非加入住民に周知する。

豊嶋 観光客の避難訓練はしないのか。

町長 多くの観光客に対する訓練は予定していない。

豊嶋 震度6弱の地震発生被害の想定がまったたく出来ていないのに、避難経路や避難場所も自治会で決めて避難せよとは、まったく理解できない。

町長 町内全域訓練と住民の相互扶助による避難訓練を目標にしております。これから段階的に細部にわたって行って参ります。

問



眞鍋 籌男 議員

◎金倉川が汚い

眞鍋 令和元年11月24日、金倉川のクリーン作戦があった。そこで私は、そこに参加している何人かの住民から「金倉川がどうしてこんなに汚れているのか。町は何をしているのか。」と言われた。

また、最近、観光客も金倉川を見たり、その周辺を歩いている姿をよく見かける。

ことひらを訪れる旅人が橋にもたれて川面を流れる風に身をさらすのも風流なものである。

そして、金倉川は、琴平町のだ真ん中を流れる、いわば生命線でもある。要するに川を見ただけで琴平の観光がわかるというもので、誰だってよそへ旅行した場合、川を眺めるのではないか。それが、今の金倉川を見るとヘドが出る。きっと住民も不愉快な思いをしていることと感ずる。町長はこの現実を見て、何を思うのか。

答

町長 町としては、出来るだけ藻やゴミが溜まらないように取水堰を調整することしかない。しかし、消防水利や高敷下地区への水路に配慮する必要がある。ご指摘のように、私も美しい金倉川になるように強く願っている。先日の浜田知事とのトップ政談会でも、県管理の金倉川については、防災面、また観光面でも対策をとってほしいと申し入れた。

答

町長 現在の仮舗装と同程度の舗装となると県からの回答です。

問

今田 内町交差点く琴平郵便局間の電柱地中化工事も最終段階です。かまぼこ型歩道の改善を確認します。

答

町長 子育て支援策として早期に取り組みたい。現在、必要経費、実施時期を内部協議しているところだ。

問

今田 来年度予算に対する要望事項として、福祉・子育て応援、生活道路改善など6項目を要求しました。その一つに高校卒業まで医療費無料化を求めました。

答

町長 町の非核都市宣言は、1984年12月。私なりにさまざまな運動にも協力してきた。核のない世界と批准に同意の意向を示す。

問

今田 2017年核兵器条約が国連で採択され、現在批准33カ国、発効まで17カ国です。来年4月24日、26日に核兵器禁止・廃絶めざし、世界大会がニューヨークで開かれます。世界の反核・平和運動団体、日本から日本被団協、原水禁国民会議、日本原水協が参加します。町長には是非この運動にご賛同していただき、ご協力とご支援をお願いいたします。そして、広島・長崎の被爆体験を持つ日本の政府も核兵器禁止条約に署名、批准すべきだと思えますが町長のご見解をお尋ねします。



今田 勝幸 議員

- ◎町長の政治姿勢を問う
- ◎高校卒業まで医療費無料化を要求
- ◎電柱地中化工事の
(内町交差点く琴平郵便局間)
- ◎かまぼこ型歩道改善の確認

令和2年第1回(1月)臨時会

- (1) 2019年度琴平町一般会計補正予算(第4号)
総額 65億5,291万5千円 (1,146万6千円 増額)
- (2) 琴平中学校改築工事(第I期)工事請負変更契約の締結
総額 21億2,118万円 (1,518万円(税込) 増額)

可決

令和2年第1回(1月)臨時会を1月28日に開催しました。一般会計補正予算として、琴平町健やか子ども基金を財源とした事業費及び町内2箇所の施設にある古い遊具を新しく設置し、保育所施設には机や椅子、タブレット等の備品購入費の増額補正です。

また、育児等健康支援事業費及び母子保健推進事業費の備品購入、小児インフルエンザ接種助成事業のために財源を組み換えるものです。

琴平中学校改築工事(第I期)については、設計内容に変更が生じたため、変更契約を行うものです。以上、2議案が提出され、慎重審議の結果、可決しました。

議案の審議結果 令和2年第1回(1月)臨時会

議案名等	議員名	議席番号										議決月日			
		賛成	反対	採決結果	1 安川 稔	2 別所 保志	3 吉田 親司	4 豊嶋 浩三	5 森藤 泰生	6 渡辺 信枝	7 今田 勝幸		8 山下 康二	9 眞鍋 篤男	10 山神 猛
議案第1号 2019年度琴平町一般会計補正予算(第4号)		8	1	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	1/28
議案第2号 工事請負変更契約の締結について		9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃

※ 可…可決
※ ○…賛成 ×…反対 —…議長(議長は可否同数の場合のみ表決権があります。)

琴平町議会行政視察報告

R1.11.19~21



■視察先…新潟県見附市 ■視察目的…「コンパクトシティ(立地適正化計画)について」

報告者…総務産業経済常任委員長 森藤 泰生

●研修内容

見附市では、都市部と村部が持続して歩いて暮らせる健康都市「スマートウエルネスみつけ」の実現を目指しています。

1000万円削減されています。
(H29・5国交省試算)

●見附市の主な評価

国のH26～H30「地域活性化モデルケース」に選定

第1回コンパクトシティ大賞 最高賞 国土交通大臣表彰

第5回プラチナ大賞 最高賞 大賞及び総務大臣賞

第3回先進的まちづくりシティコンペ 国土交通大臣賞

2019年度SDG's未来都市 自治体SDG'sモデル事業内閣府選定

⑥転入、住み替え促進・リフォーム補助でまちをゾーニング ⑦健康づくりを啓発サポートする人材育成等を行うことで、人口減少を抑えるとともに、財政面でも高齢者の介護費用が年間5億



●まとめ

コンパクトシティは今後の人口減少を見据えたとき大変重要な計画であり、他の多くの施策との有機的なつながりにより効果を発揮するものとの認識を深めました。見附市は健康づくりというすべての住民にかかわるテーマを中核におくことで産業・福祉・教育等各課の施策をまとめあげ成果を出しています。ハード事業でも耐用年数を考慮し50年後のまちづくりのブランドデザインを持つていました。

わが町でも今後小学校の統合、庁舎、こども園等の建設が必要ですが、今回の見附市での研修を大いに参考にし、住民の皆さまに共感いただけるテーマの下まちづくり計画を作成していかなければなりません。

■視察先…埼玉県熊谷市 ■視察目的…「登校支援推進事業について」

報告者…教育厚生常任委員長 別所 保志

熊谷市では、登校支援推進事業として生徒の立ち位置に立ち、関係機関全体で物事を考え、児童が学校に登校復帰するためには何が必要なのか、また、今何をすべきなのかをその都度考えて対応しているとの説明がありました。登校復帰した後も、幼稚園、保育所、小学校、中学校とも連携を図り、見守りをしていく事で子ども達の成長を促している。また、家庭での環境も踏まえ、地域全体でのサポートが必要



不可欠であり地域全体で見守りはぐくんでいく事の大切さを改めて認識させられた研修となりました。

本町では、新しい中学校校舎が建設されています。ハード面だけでなくソフトの面でも幼稚園・保育所・小学校・中学校とも連携を図り登校支援事業にも対応していき、子ども達の異変、SOSの発信に早く気づいてあげる事の大切さを改めて感じた研修と成りました。



お知らせ

ぜひ、議会の傍聴を!!

12月定例会は5名の方が会議を傍聴されました。



本町議会では、定例会を3月、6月、9月、12月の年4回（臨時会は随時）開催しています。会議の当日、傍聴人受付票にご記入いただき、受付箱に投函後、役場3階傍聴席入口よりご入場ください。

3月定例会は 3月6日(金)に開会します。

琴平町内で撮影した四季折々の行事や風景など「ことひら議会だより」の表紙にふさわしい写真を募集します。あなたの一押しの写真が表紙を飾るかも。ご応募お待ちしております！



詳しくは議会事務局(☎75-6713)までお問い合わせください。

E-mail: gikaijimukyoku@town.kotohira.lg.jp

令和2年3月定例会日程(予定)

月	日	曜日	会 議
3	6	金	本会議(提案理由説明等) 9:30~
	7	土	
	8	日	
	9	月	本会議(一般質問) 9:30~
	10	火	本会議(一般質問) 9:30~
	11	水	総務産業経済常任委員会(議案審査) 9:30~
	12	木	教育厚生常任委員会(議案審査) 9:30~
	13	金	
	14	土	
	15	日	
	16	月	予算審査特別委員会(議案審査) 9:30~
	17	火	予算審査特別委員会(議案審査) 13:00~
	18	水	予算審査特別委員会(議案審査) 13:00~
	19	木	予算審査特別委員会(議案審査) 9:30~
	20	金	(春分の日)
	21	土	
	22	日	
	23	月	予備日
	24	火	予備日
	25	水	本会議(委員長報告、採決等) 9:30~

会議録もご覧ください

議会だよりでは、紙面の都合により内容を要約してお伝えしています。質疑・答弁の詳細は、会議録に詳しく掲載されていますので、ぜひご覧ください。会議録は町ホームページ内、議会欄、会議録検索システムでご覧になれます。

琴平町議会

検索



表紙の写真

広報ことひら8月号で“私のお気に入り”の写真募集をしました結果、議長賞には、田岡 治氏(榎井)が選ばれました。

発行責任者		議長	安川 稔
議会広報編集特別委員会		委員長	豊嶋 浩三
副委員長	吉田 親司	別所 保志	森藤 泰生
渡辺 信枝	山下 康二		

編集後記

令和になり初めての正月は、天候にも恵まれ、穏やかな一年の始まりとなりました。本年も、住民の皆様の付託に答えられる一年でありたいと思いますので、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

1月20日に私たち議会広報編集特別委員は、香川県自治会館において編集員広報研修会に参加しました。議会広報についての編集方法等の研修を受け、これからは皆様により読みやすく、分かりやすい「ことひら議会だより」を作ってまいります。

これからもご愛読の程、よろしくお願ひします。(別所)

